

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-1-2	取組項目名	要員管理の適正化			
所管	総務	局	人事	部	人事	課
〔P〕 取組内容	実施内容	平成31年度を目標年次とする「要員管理方針」の確実な達成に向け、引き続き適正な要員配置に取り組みます。 また、平成32年度以降も、事務事業の見直しやアウトソーシング等を進める中で要員配置の最適化を図り、総人件費の削減に取り組みます。				
	目標	H30	・要員数:平成31年4月時点で4,800人以下			
		R1	-			
〔D〕 実績・進捗状況	H30	要員管理方針の取組最終年度についても、「要員管理の推進方針」の考え方(「スクラップ&ビルドの徹底」、「組織の筋肉質化」及び「絶えずチャレンジすること」)に基づき、取組を推進しながら、職員の採用等もこれまでの間計画的に行ってきた。その結果、取組目標(4,800人)は達成できる見込みである。(平成31年4月1日の要員数が、4,767人となり、目標達成ができた。)				
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R1	要員管理方針の満了期日である平成31年4月1日において、要員数が4,767人となり、取組目標である4,800人を下回り、目標達成ができた。				
		R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30~R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R2					
		R2の達成度		〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30~R2の達成度		〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		見込み	182 百万円	52 百万円	- 百万円	
実績		165 百万円	268 百万円	百万円		
評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
〔C〕 評価	課題分析	平成31年4月1日で、要員管理方針が期間満了となったため、新たな職員数の管理の考え方を整理しておく必要があり、その際、国より通知のあった定年延長も考慮の上、検討し決定する必要がある。その際、本市の状況を取り巻く状況を勘案しつつ、適切に行政需要に対応できる体制を維持するという視点を反映したものとする必要がある。				
〔A〕 改善策	改善策	定年延長の導入の時期が判明するまでの当面の間については、従来の要員管理方針の考え方に基づき、現在の体制による対応を行っていく。 ただし、子ども相談所への児童福祉司の配置基準の見直しへの対応等、新たに体制を確保しなければいけないものについては、個別に必要性を見極め、配置の検討を行っていく。				
備考						